

平成26年度第10回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門 兼 高校生ものづくりコンテスト2014東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立新庄神室産業高等学校
事務局 佐藤 真

1 はじめに

6月15日(日)、山形県立村山産業高等学校にて、「平成26年度第10回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門 兼 高校生ものづくりコンテスト2014東北大会旋盤作業部門予選会」が開催された。前日14日(土)は午後から練習会が行われ、参加選手がそれぞれ本番で使用する旋盤の入念なチェックを行った。今年度も酒田光陵、寒河江工、長井工、鶴岡工、新庄神室産業、山形工、米沢工、村山産業から計8名の参加があり、「高校生ものづくりコンテスト全国大会」と同じ課題に挑み、日頃の旋盤加工の腕前を競い合った。



写真1 大会風景



写真2 大会風景

2 大会結果

大会結果は、以下の通りである。

優勝	86点
太田 奏 (酒田光陵2年)	時間 1:57'
2位	85点
二瓶光太郎 (米沢工2年)	時間 1:59'
3位	79点
阿部 伸弥 (新庄神室3年)	時間 2:02'

以下、長井工、鶴岡工、山形工と続いた。なお、寒河江工、村山産業は制限時間超過であった。標準時間の2時間以内に完成させたのは2名、上位はかなり接戦した成績であった。



写真3 大会参加選手

今年度もまた全国大会の課題が一部変更となり、加工部位が増え、各学校の選手とも対応に苦慮している様子が見受けられた。何とか標準時間内に完成したものの、加工時間を要するかなり厳しい競技会であったと思われる。

3 生徒のアンケート

1) 調査内容より

- ・ 大会までの練習期間は、1ヶ月以内が1名、2ヶ月以内4名、3ヶ月以内が3名であった。
- ・ 練習で製作した個数は、10個以上が5名(昨年6名)

2) 感想として (抜粋)

- ・ これまでの練習より、製品の精度も出てねじ切りもうまくできたが機械が新しく動かしづらかった。
- ・ 学校で練習の時使用した旋盤より大きくて機械操作の面で戸惑った。
- ・ 練習の時の空気とは全然違ってとても緊張し、失敗しながらの加工であったが、良い経験になりました。

4 おわりに

優勝した太田君(酒田光陵)は、8月に秋田県で行われた東北大会に出場。結果は惜しくも入賞には至らなかった。最後に、大会開催において関係各位よりご支援ご協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。